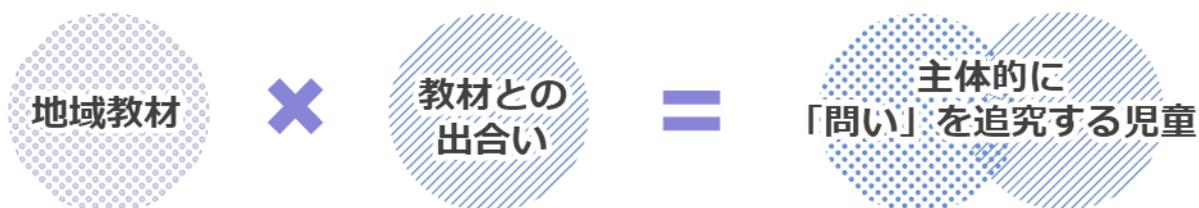


## 研究の概要

どうすれば、子供たちが主体的に学ぶのか。切実感をもって本気で「問い」の解決を考えるのか。本校における授業改善の課題であった。

そこで、本校では、子供たちの生活に関わりが深い地域教材を積極的に開発すること、そしてその教材との出合いを工夫することで、子供たちがより主体的に「問い」を追究できるのではないかと考え、社会科を中心に実践的な研究に取り組むこととした。

<日本橋小学校の研究のイメージ>



## 日本橋スタイル① 地域教材の開発

子供たちが当事者意識をもって考え、主体的に関わろうとする態度を育成するには、身近な地域の社会的事象を教材として取り上げることが極めて効果的である。中央区や東京都、我が国についての理解を深めるため、象徴的な事例として地域教材を開発し、以下の「開発の視点」に基づき、社会科・生活科・総合的な学習の時間等の指導計画に位置付ける。

### ●地域教材「開発の視点」

- ① 子供の実生活上の経験に結び付く身近なもの
- ② 見学や調査を通して自分とのつながりを実感できるもの
- ③ 学習後も見つけ考え続けることができるもの

①～③の視点で地域を捉え、素材を集め、学習指導要領のねらいを達成するための教材化を図った。



地域の祭り  
「べったらし」  
神輿準備の見学  
(4年生)



日本橋再開発見学  
(6年生)



お世話になった地域の方々・場所一覧

- |  |   |
|--|---|
| <p>★見学・調査<br/>☆ゲストティーチャー他<br/>お世話になったの方々</p> <p>● 地域のお店<br/>(2年)</p>   | <p>★見学・調査<br/>☆ゲストティーチャー他<br/>お世話になったの方々</p> <p>● 地域のお店<br/>(2年)</p>  |
| <p>▲ 三井不動産 (6年)★<br/>         B 日本橋首都高速道路の方々 (6年)★<br/>         C 伊場仙 (6年)☆<br/>         D 十思スクエア (5年)☆<br/>         E 江戸屋 濱田さん (4年)☆<br/>         F 戸田屋 小林さん (4年)☆<br/>         G 株式会社 龍工房 組紐職人福田さん (3年)☆<br/>         H 日本橋消防署 人形町出張所 (3年)★<br/>         I 久松警察署 (5年)★<br/>         J 浜町公園 (1・2年)★</p> | <p>K 彦九郎 今江さん (3年)☆<br/>         L 松村パン (1年)☆<br/>         M 日本橋消防団 第二分団 (3年)★<br/>         N 日本橋図書館 (2年)★<br/>         O 堀留公園 (1年生)★<br/>         P べんてる (5年)☆<br/>         Q 株式会社 花門フラワーゲート (1年)☆<br/>         R 中央区役所 環境土木部水みどりの課公園河川係のみなさん (1年)☆<br/>         S 株式会社 ミズノプリテック (3年)★<br/>         T 築地場外市場 総合案内所 「ぶらっと築地」のみなさん (3年)☆</p> |

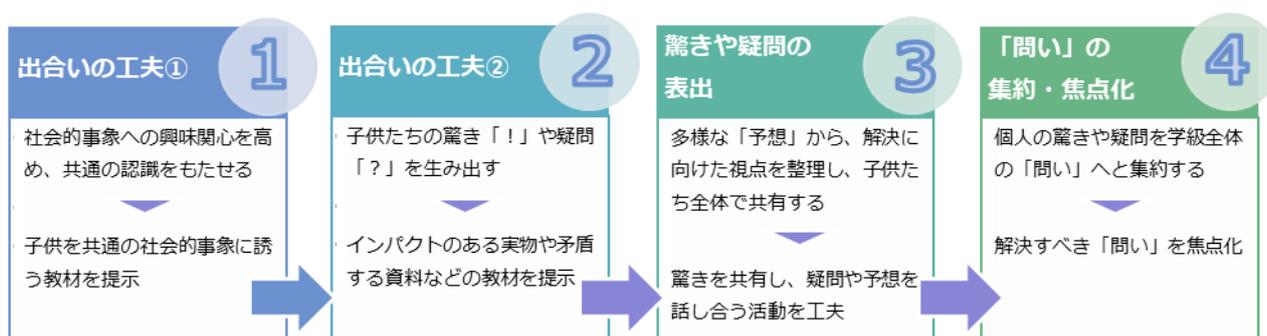
## 日本橋スタイル② 「教材との出会い」の工夫

授業の「つかむ」場面で、社会的事象への興味関心を高める教材との「出会いの工夫①」に加え、「出会いの工夫②」の2段階で提示する。このことにより、「えーっ!」「どうして?」と子供たちが驚いたり疑問をもったりするとともに、「きっと〇〇ではないかな」と様々な予想を引き出され、子供たちが主体的に「問い」を追究していく。

特に「出会いの工夫②」を確実に指導計画に位置付けることで、驚きや疑問への予想が生まれ、子供の社会的事象の見方・考え方がより働くとともに、追究に向けた多様な視点を子供たち全員で共有することが可能となる。この学習過程を経ることで、解決すべき「問い」への意識を一層高めることができ、その後の解決への見通しをもちやすくすることも期待できる。

「出会いの工夫②」のあとに表出される子供たちの多様な「予想」を授業において丁寧に整理し、方向付けをすることが、子供の単なる驚きや疑問から、学習で解決すべき「問い」へと焦点化するために大切な学習活動になる。

<日本橋スタイル②「教材との出会い」の工夫のプロセス>



# 出合いの工夫①

例 第3学年「火事から地域の安全を守る」

出合いの工夫①

出合いの工夫②

驚きや疑問の表出

「問い」の集約・焦点化

全焼するまでの時間の動画を視聴する・・・出合いの工夫①

全焼までの時間は10分～20分です

えー！

そんなに早いのに！

すぐ燃えちゃうんだ

こわいなあ

意外と早くてびっくりした

出合いの工夫①により、児童に同じ社会的事象への認識をもたせる

# 出合いの工夫②

出合いの工夫①

出合いの工夫②

驚きや疑問の表出

「問い」の集約・焦点化

矛盾のある資料提示・・・出合いの工夫②

中央区の1年間の火災件数 103件  
そのうち全焼は 0件

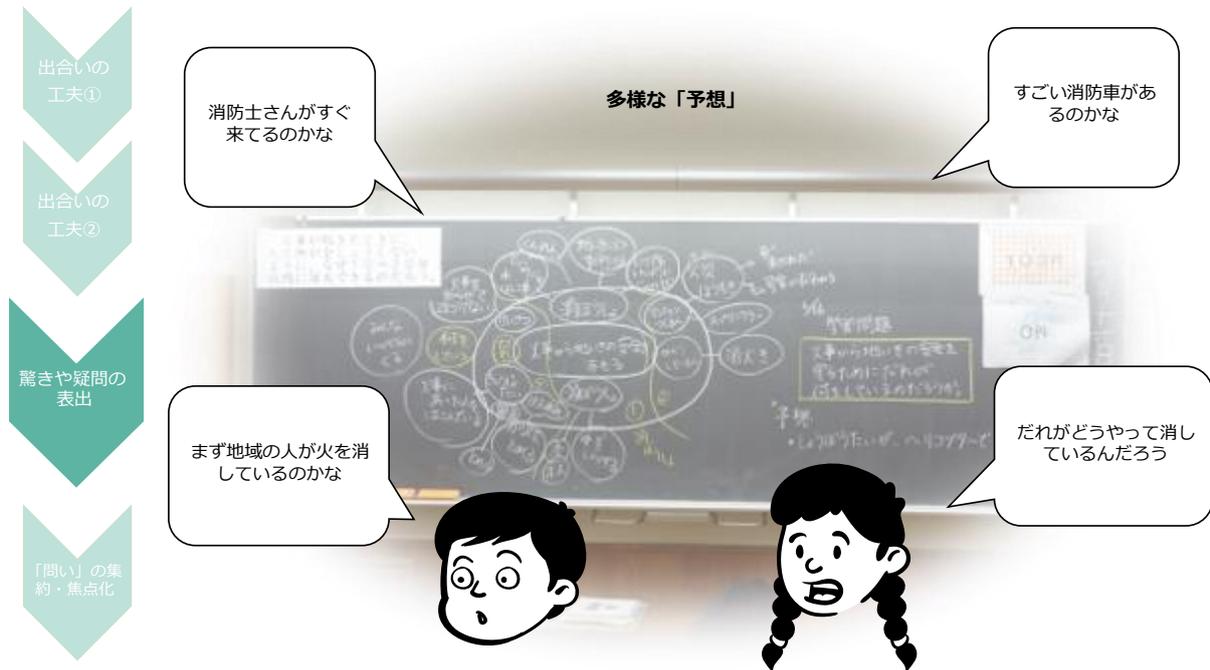
103件

0件

どうして中央区は全焼が0件なんだろう  
子供たちに「？」が生まれる

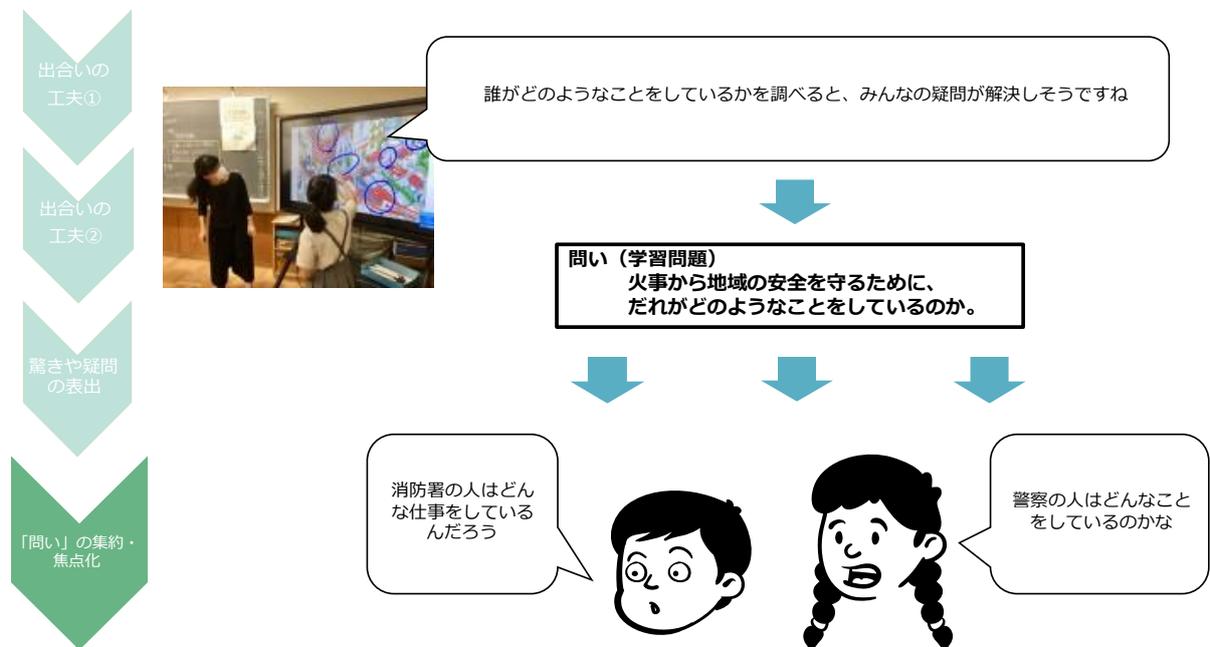
出合いの工夫②を確実に指導計画に位置付けることで子供の社会的見方・考え方がより働く

# 驚きや疑問の表出



教師は疑問や予想を話し合う活動を工夫することで  
解決に向けた視点を整理し、子供たち全体で共有できるようにする

# 「問い」の集約・焦点化

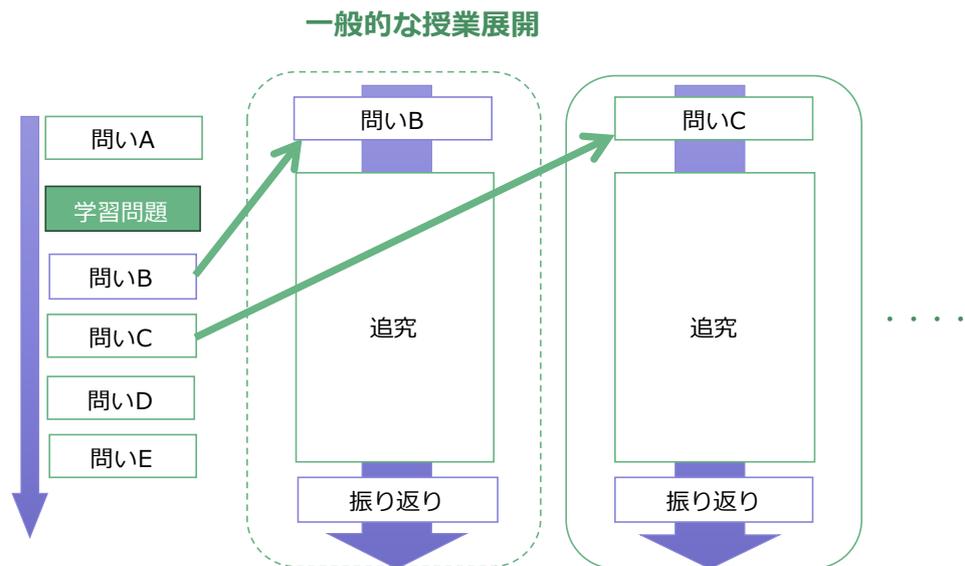


子供の単なる驚きや疑問から、学習で解決すべき「問い」へと教師が焦点化していく

### 日本橋スタイル③ 学習内容のまとめごとの「問題解決的な学習」

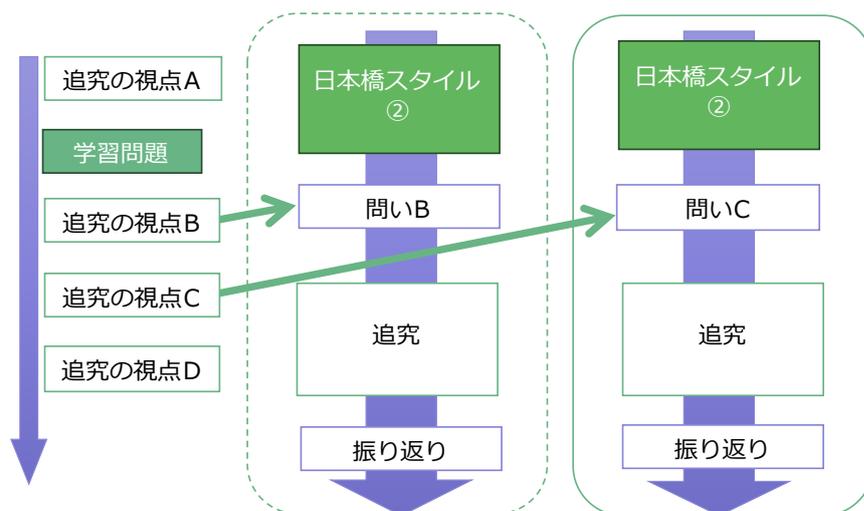
「学習問題」をつかむ段階では教材提示を工夫するものの、その後の授業では、本時のめあてや問いを教師が一方的に提示・確認したり、「学習問題に対する考えをまとめよう！」などと、解決すべき問いを省略したりすると、子供たちの主体的な学びを持続することが難しい。単元全体で「問題解決的な学習」を展開するとともに、1単位時間の授業においても可能な限り「問題解決的な学習」を展開することが、主体的に「問い」を追究するためには重要である。

そこで本校では、単元全体で子供たちの主体的な学びを保障するため、学習内容のまとめごとに、「日本橋スタイル②」を位置付け、子供たちが「問い」を生み出す授業を展開する。



### 日本橋スタイル③ 学習内容のまとめごとの「問題解決的な学習」

#### 日本橋スタイル③



1単位時間の授業においても「問題解決的な学習」を展開し

児童にとって解決したい切実な「問い」を生む

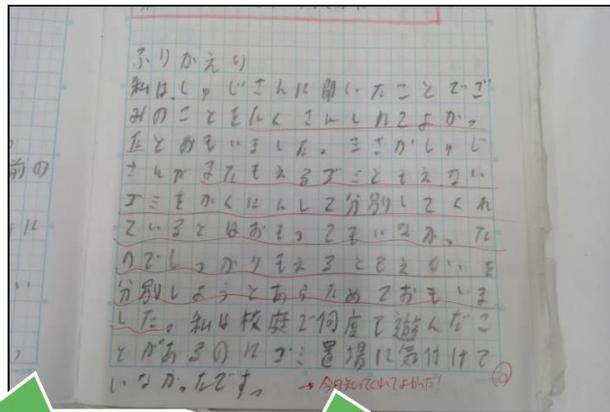
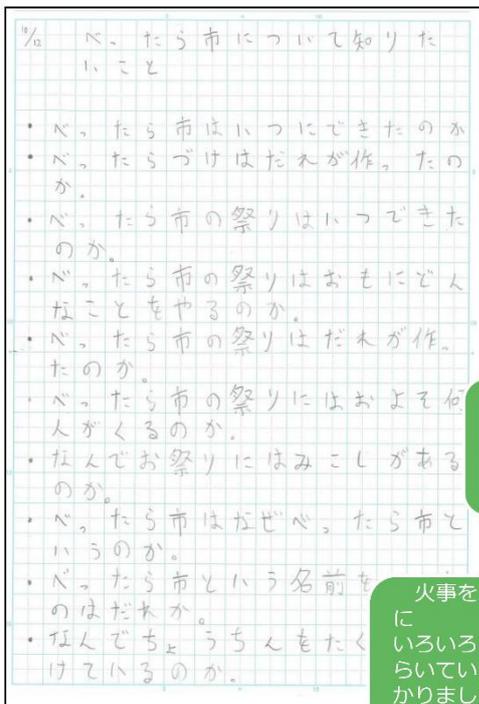
## 子供の学びを確実にする評価の工夫

### ●毎時間の振り返りの工夫

子供自身が学びを振り返る活動を毎時間に設定するその際に、学びの段階を踏まえ、振り返る視点を明確にすることが重要である。教師が次の指導に生かすと同時に、子供が問題解決に向けて自己の学習状況を確認することが可能となる。また、教師はこの振り返りを基に、指導計画を変更したり、資料提示の順番を考えたりする。

段階	振り返る視点
つかむ	知りたいこと・調べたいこと
調べる	分かったこと・考えたこと・学んだこと
まとめる	これまでの学習を踏まえて分かったこと・考えたこと・学んだこと
つなぐ	自分たちができること・考えていきたいこと

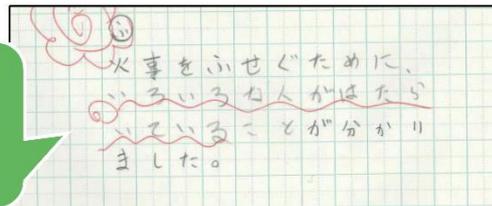
<学習段階に即した振り返りの例>



だれが見つけたのか  
いつできたのか・・・  
(知りたいこと)

しっかり分別しよう  
とあらためて思いました。  
(わたしはこうしたい)

火事をふせぐために  
いろいろな人がはたら  
いていることが分か  
りました。  
(わかったこと)



### ●社会とつながり未来を創る子供の具体的な姿

地域の祭り（べತ್ತら市）の学習後、「子供保存会」をつくりたいという声が数名の子供たちから上がった。この学習を通して、地域の伝統を自分たちも守っていききたいという気持ちが子供たちに芽生えた。

「べತ್ತら市子供保存会」  
(4年生)



